

Yumeken

秋

2017 Vol.686

◆特集〇話題の焦点

行って、見て、納得!「インフラツーリズムの勧め」

◆行ってみよう

スノーシュートレッキングを楽しむ

◆第23回夢けんせつフォトコンテスト

受賞作品紹介

◆おじゃまします

近江建設株式会社



行って、見て、納得! 「インフラツーリズムの勧め」

ここ数年、インフラツーリズムという言葉が注目を集めるようになり、既存のインフラ施設や、工事中の土木構造物を見学するツアーが全国各地で実施されています。

経済活動やライフライン、防災など、国民生活を支えるインフラ施設の裏側や、スケール感のある建設現場などを間近に見ることのできるインフラツーリズムの魅力にせまります。



**インフラ施設や建設現場が
観光資源として注目を集める**

インフラ（インフラストラクチャー・Infrastructure）とは、道路や鉄道、河川、港湾、空港、さらに電気、ガス、水道など、産業や生活の基盤として整備される施設をさします。

インフラツーリズムという言葉が登場したのは、平成25年の「観光アクションプログラム」で、日本が世界に誇る土木技術や優れた土木構造物など、特徴あるインフラ施設を観光資源として活用しようという動きが広がっています。

インフラツーリズムの魅力は、なんとと言っても普段は見られない建設中の工事現場やインフラ施設の裏側などを見学できることです。スケール感のあるダイナミックな建造物を目の前にすると、老若男女問わずわくわくしてしまうのではないのでしょうか。

国土交通省総合政策局は2016年に全国各地の最新インフラツアー情報を紹介する「インフラツーリズムポータルサイト」を開発、サイトでは各地方整備局が主催する現場見学会のほか、民間旅行会社などが主催するインフラツアーも紹介されています。

インフラツーリズムへの関心が高まることにより、社会インフラの役割や重要性への理解が深まるだけでなく、地域の観光振興ひいては地域活性化にもつながることが期待されています。

インフラツーリズムポータルサイト
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/infratourism/index.html>



「天ヶ瀬ダム再開発事業
トンネル式放流設備」(京都府宇治市)

工事現場編

国土交通省近畿地方整備局のサイト「現場見学ガイド」〜魅せる現場〜では、工事現場編と完成施設編として、近畿圏で（通年）体験できる（平成29年10月現在）として、ダムや河川、道路、港湾など20以上の現場や施設が紹介されています。

その中から、「天ヶ瀬ダム再開発事業 トンネル式放流設備」と「瀬田川洗堰」の概要とポイントをご紹介します。

ツアーに行く前にその現場の概要やポイントを予習しておく、より理解を深めることができます。現場には危険なエリアも多いため注意事項を確認して、特にお子さんと一緒の場合は十分に気を付けて見学するようにしましょう。

いざ、魅せる現場へ インフラツアーの楽しみ方



農業や自然に触れ学べる「スクールガーデン」



来園者同士が交流できる「交差点広場」

湖国 街かど ウォッチング

新しい施設や街の話題をレポートするコーナーです。

草津川跡地公園(草津市)

街より高い位置を流れる「天井川」として全国的に知られていた旧草津川。川としての役目を果たした全長約7kmの跡地を有効活用するため、区間を6つに分け、平成24年に「草津川跡地利用基本計画」が策定されました。

琵琶湖とまちなかをむすび、人と自然人と人がつながるような魅力あふれる空間をつくることを目的に、草津川跡地整備事業を進めました。

そして、平成29年4月1日に、全長約1.2kmの「ai彩ひろば(草津川跡地公園(区間②))」と全長約0.8kmの「de愛ひろば(草津川跡地公園(区間⑤))」がオープンしました。

「ai彩ひろば」は周辺が農業地域であることから、整備テーマを「農と人の共生」とし、川の流れをイメージした「せせらぎ」や、子どもたちが農業や自然と触れ合うことのできる「スクールガーデン」のほか、「多目的広場」「交差点広場」

が設けられました。

一方、「de愛ひろば」付近は江戸時代から東海道と中山道が合流する場として、周辺地域にヒト・モノが集まっていたことから、整備テーマを「人と人の交流」とし、多様なスタイルを取り入れたガーデン空間として、農業高校やガーデンセンターとも育てる「ステップガーデン」と「コミュニティガーデン」に、ざわい創出の仕掛けとなるイベント広場や飲食店などが設けられています。

にぎわい活動棟(管理事務所)前の「コミュニティガーデン」

草津川跡地整備事業を進めるに当たっては、市民アンケートやパブリック・コメント、ワークショップなどを

メインエントランスの「ステップガーデン」

に行いながら事業を実施してきまし。例えば、旧草津川の堤や桜並木を残して天井川のおもかげと桜を

楽しめるようにし、災害時には、防災拠点となるようストリートファニチャー(多目的施設)にかまどテーブルや防災パーゴラ、防災トイレなど、園内に様々な防災機能を付加しています。

市民活動団体や事業者など、公園を利用する多様な団体で組織する「草津川跡地公園管理運営会議」を定期的に開催しながら、市民や団体からの声を公園運営に反映し、長く市民に愛され多くの人が訪れるにぎわい空間として活用していくことを目指しています。

草津川跡地公園へのアクセスやイベント情報などは以下のサイトで紹介されています。
<http://www.seibu-la.co.jp/kusatsugawa-atochi-park/>

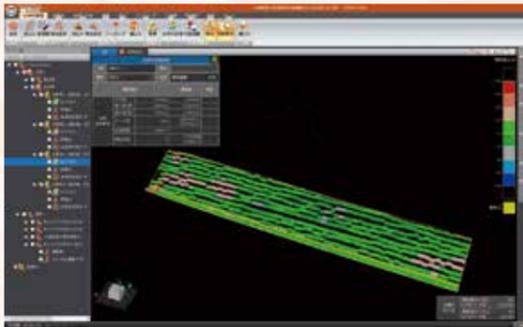


長い草津川をイメージした「せせらぎ」

CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………	2
草津川跡地公園……………	2
特集・話題の焦点……………	3
行って、見て、納得! インフラ ツーリズムの勧め……………	3
第23回……………	6
夢けんせつフォトコンテスト	6
受賞作品紹介	6
おしゃまします……………	12
近江建設株式会社	12
行ってみよう……………	14
スノーシュー	14
トレッキングを楽しむ	14
夢けんひろば……………	16
近江うまいもの紀行……………	18
クイズ	18
取材こぼれ話……………	19
夢けんNEWS	19
編集後記……………	19
表紙写真	19
「安全よし」萩田 亜紀	19
「ホフマン窯」上野 邦雄	19

設計図などから3DCADで作成した3次元設計図



作業後の地面の高さが設計図に対してプラスマイナスどれくらいかを、色によって見える化したヒートマップ (UAVによる)

※3次元出来形計測図は、出来上がりの形と設計の形が合っているか合否判定した結果が3次元設計図の上に表示されたもの。



よる3次元測量によりヒートマップを作成する。ここでは、ICT重機の内蔵カメラから得られた画像の解析データ、重機のGPS位置情報をもとに、施工後5分以内にクラウド上でヒートマップ(3次元出来形計測図*)を作成し、施工

位置にあるかがリアルタイムに表示され、作業を行う人と管理を行う人が同時に同じ情報を共有できるようになっています。

従来の工法では、設計図に合わせて基準となる杭などを、人が直接その場所に設置した後、それを目安に掘り施工しなければなりません。危険な急傾斜地でも同様に杭などを設置し、さらに、設計図通りに施工できているか、何度も計測しながら施工するため、作業に多くの時間と人手を要しました。

ICT重機には、基準となる位置や高さの情報が入力されているため、杭などのガイド



リアルタイムでショベルの位置を確認しながら作業するICT重機(ショベルカー)

建設機械をインターネットにつなぐ ICT施工で精度と効率をアップ

その後、現場に移動して、ICT重機による掘削と法面整形のデモンストラーションを見学させていただきました。

用意されたタブレットとモニターには、ICT重機(ショベルカー)の先端(ショベル部分)が、3次元設計図に対してどの角度で、どの

中山所長は「3Dグラフィックスを見慣れない人にとつて、画面に何が表示されているかを理解するのに時間がかかるかもしれない。また、ICTを活用して工事を円滑に進めていくためには、ソフトウェアや3DCADを使いこなせる人材や、インターネット環境を維持するためのシステム管理者などが必要になります」とICT施工の実施に当たっての課題を指摘します。一方で、「テレビやゲームなどで3Dに慣れ親しんでいる若い世代は、すぐにICT施工に慣れ親しんでいけるのではないかと、若い世代の活躍に期待を寄せ

ICT施工の導入で人手や手間を省き、より正確・安全に

くつかを、色によって見える化したもので、一目で工事の精度と進捗を把握することができます。ヒートマップはクラウド上に作成されるので、工事現場の中だけでなく、遠く離れた本社ともリアルタイムに情報を共有することができます。



作業中のショベルの動きや、作業後の地面の高さがモニターで確認できる。

さらに、こういった3次元化された施工データが行政機関に蓄積されると、老朽化したインフラが災害で破損した場合の、メンテナンス計画の立案にも有効活用できます。ICT施工で得られたデータは安全な暮らしを維持するために役立てていくことができます。

建設工事現場では、最先端の建設機械を使いこなして、スケールの大きなものづくりが行われる様子を見るのが楽しみの一つですが、ICT施工の現場では、さらに一歩進んだ未来の建設現場の姿を目にすることができるともいえます。

巨大な「トンネル式放流設備」の建設現場を近くで見学することができる。



既存施設である天ヶ瀬ダムにトンネル式放流設備を新設して、洪水調節機能や水道・発電などの利水機能を増強する再開発事業で、一般の方を対象に立ち入りを制限している工事現場等を見学することができます。

- **ポイント**
- 水路トンネルとしては、日本最大級(延長07m、最大トンネル径：幅約23m、高さ約26m)のトンネルです。
- 水の勢いをゆるめるための施設を設けています。
- 自然豊かな周辺の景観に配慮したデザインが採用されています。

見学可能時期: 通年(平日10:00~16:00)
見学対象者: 団体(10名~20名)
※工事の進捗上、見学箇所の限定や日時調整を行う場合があります。
現在、大断面掘削の開始により減勢池部トンネル内の見学はできません。

完成施設編 「瀬田川洗堰」(滋賀県大津市)



琵琶湖の出口となる瀬田川の流量をコントロールし、琵琶湖の水位と下流の水量を調節する洗堰。現在の洗堰は昭和36年に完成したもので、ツアーでは、一般の方を対象に立ち入りを制限している洗堰の操作室やゲート設備を見学することができます。

現地には、土木遺産の認定を受けた南郷洗堰(明治38年完成)の一部が当時のまま残されているほか、春は桜を楽しむこともできます。

また、併設の「水のめくみ館アควア琵琶」では、瀬田川洗堰の模型を使用してわかりやすく施設を紹介するほか、洗堰の歴史や琵琶湖の治水・水環境などを紹介しています。

見学可能時期: 通年 ※洗堰操作のため、見学できない場合があります。
見学対象者: 団体の皆様(5~20名)
【水のめくみ館 アクア琵琶(不定休)】
<http://www.kkr.mlit.go.jp/biwako/aquabiwa/>

国土交通省近畿地方整備局「現場見学ガイド ~魅せる現場~」
<https://www.kkr.mlit.go.jp/kengaku/guide/index.html>



普段は入れない操作室や、併設の「水のめくみ館アควア琵琶」で、洗堰の仕組みや歴史について学ぶことができる。

現場見学会レポート 情報通信技術を活用した ICT施工の現場を見学



整地された盛土の下を通る水路函渠が建設されている。

滋賀県建設業協会の広報委員会は、東近江市で行われている「大津能登川長浜線道路整備工事 能登川工区」(発注者: 滋賀県東近江土木事務所、受注者: 株式会社三東工業社)の現場を見学しました。

現在行われている能登川工区は、軟弱地盤対策のために前の工事で積み上げた盛土を撤去した後、道路となる下地を整地し、その下を通る道路と水路を建設するというもの。現場は琵琶湖の一部を干拓した土地のため地盤が弱く、「盛土載荷重工法」で約35万㎡の盛土を仮設して、盛土の重みで約6メートルも地盤が下がるのを待ってから、重機を使ってベンチカット工法(斜面を階段状に削る工法)で盛土を掘削し、法面を整形していきます。

この工事は、工事現場で行う測量や施

起工測量で得られた地形の点群データ



④③で得られたさまざまなデータや3次元設計図を、ICT重機と管理システムに入力し、掘削や法面整形などの作業を半自動制御で行う。

⑥ UAV(ドローン)に

③①の3次元モデルと②の3次元設計図をパソコンで比較して、掘削する土の量を把握し、掘削や運搬の方法を検討する。

- ↑ ICT施工の流れ
- ① レーザースキャナーやUAV(ドローン)による起工測量で得た地形の点群データ(位置情報)から、工事前の3次元モデルを取得する。
- ② 発注者が平面図で作成した設計図などから、3DCADで3次元設計図を作成する。



3Dモデリングで作られた完成形想像図

工、検査などにICT(情報通信技術: Information and Communication Technology)を活用するICT施工で行われているもので、見学に先立って(株)三東工業社の中山祐所長と生田周作品質管理室長から、ここで行われているICT施工の流れについて説明していただきました。

優秀賞



建設業労働災害防止協会滋賀県支部長賞
「空中作業」田村 宏〔京都府〕

評 橋脚の一部を切り取り、働く人を配して大きさをよく表現しています。遠くの山並み、防護ネットを入れ見事に構成しました。



滋賀労働局長賞
「あれ 音がちがうわ」高橋 克弥〔滋賀県〕

評 ハンマーの音に耳を澄まし真剣な表情で見据える。コンクリートの汚れや、ひび割れが時の経過を表し、音の違いを視覚的にも巧く表現しました。



独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部長賞
「文化財を守る」井上 先夫〔滋賀県〕

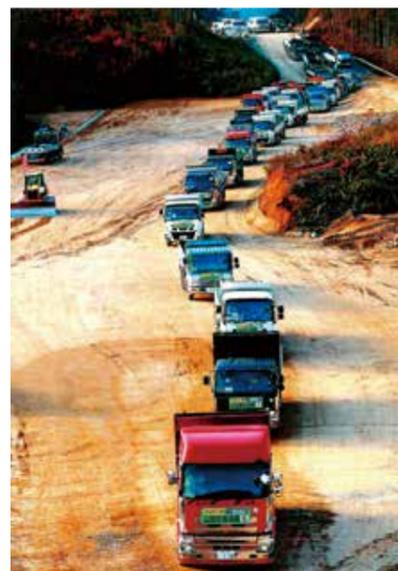
評 十字に入れた鉄骨と修復する文化財との時代対比。作業する若者の呼吸の合った姿もよくシンプルにまとめ、主題を引立てました。



一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会長賞
「建設男子」池田 真由美〔滋賀県〕

評 建設機械や建物、山のピントを少しはずし、背景として上手く使い主題の男性、測量機を浮き立たせ、表情もよく見事な画面構成です。

特別賞



評 縦位置にまとめた画面奥まで並ぶダンフカー。リアルに捉えた画面から突貫工事の緊急性がよく伝わります。

BBCびわ湖放送株式会社賞
「突貫工事のダンフカー」太田 誉〔岩手県〕

PHOTO 第23回 CONTEST 入賞作品

●審査員／滋賀県写真連盟 会長：澤野 二朗 並びに主催者

第一部
「建設業にはたらく人々」
第二部
「建設物がある滋賀の風景」

- 主催／一般社団法人滋賀県建設業協会
- 後援／滋賀県、滋賀労働局、公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会、西日本建設業保証株式会社滋賀支店、滋賀県建設業協同組合、一般社団法人滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部、びわ湖放送株式会社、株式会社SIN
- 協賛／滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、フジカラープロフェッショナルラボ(株)トミカラー

	応募者数	応募点数	第一部	第二部
総数	198人	358点	173点	185点
内訳	県内	131人	85点	151点
	県外	67人	88点	34点

入賞作品展のお知らせ

入場無料

- 10月22日(日) 滋賀けんせつみらいフェスタ
大津港業務用地(滋賀県大津市浜大津五丁目5-1)
- 平成30年4月中旬頃 愛荘町立愛知川びんてまりの館
(滋賀県愛知郡愛荘町市1673)

審査後記

滋賀県写真連盟会長 澤野 二朗

北海道から鹿児島まで、全国各地から昨年を大きく上回るご応募を戴きました。

建設現場や作業する人達を撮ることは、場所も限られ条件の悪いなか、よく写していますが、主題だけを切り取らず環境がわかるようまとめたಿದೆ。

二部では従来からよく撮られている場所が多くありますが、同じ場所でも季節を変え時間を選び新しい視点で捉えてください。新しい場所を見出し創作意欲のある作品が上位に入りました。

第一部「建設業にはたらく人々」(デジカメ・カメラ可)

グランプリ



評

ヘルメットを付けてもらい緊張した表情の子供と大人の優しいまなざし、二人の呼吸、対話が伝わってきます。撮影位置、タイミングが良い。

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「安全よし!」 荻田 亜紀〔滋賀県〕

入選



「"お気をつけて!"」
松岡 憲一〔滋賀県〕

第二部「建設物がある滋賀の風景」

(デジカメ・カメラ可)

グランプリ

滋賀県知事賞
一般社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞
「ホフマン窯」 上野 邦雄 [滋賀県] (滋賀県近江八幡市)



評

かつての瓦工場跡の煙突を縦位置の画面で象徴的に堂々と捉え、
青空、白い雲もよく、手前の花も取り入れ美しくまとめています。

優秀賞



西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞

「水路」

澤村 勝司 [愛知県] (滋賀県高島市)

珍しい形の水路を俯瞰撮影で、水の勢いで白くなっている部分、
ブルーの水で造形的によくまとめています。



滋賀産業新聞賞

「奥琵琶湖パークウェイ彩る桜」

平 尚治 [滋賀県] (滋賀県長浜市)

琵琶湖に面した道路の桜、山肌を縫う道沿いの桜がとても美しく、広い範囲を写し、
山肌の姿や建物で環境をよく表現しました。



「地域の悲願」

有田 勉 [岩手県]



「工事現場」

高木 志津夫 [福島県]



「安全に」

山本 洋子 [岡山県]



「匠みの技」長さピッタリ

山田 祐市 [滋賀県]



「家族を守るヨシ！」

松田 勤衛 [滋賀県]



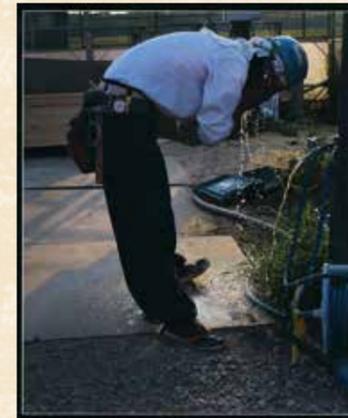
「道路のアート作家」

野村 昭夫 [滋賀県]



「構築」

山岡 周天 [滋賀県]



「お疲れさま」

曾我 一彦 [滋賀県]



「バックオーライ」

金井 正顕 [京都府]



「チームワーク」

石井 清治 [千葉県]



「見習い中」

仲川 幸延 [愛媛県]



「架橋作業」
木原 雄三 [熊本県]



「曳家工事」
栗原 達夫 [滋賀県]



「恐竜使い」

近藤 ちひろ [滋賀県]

奨励賞



「奥琵琶湖パノラマ」
本庄 重夫〔滋賀県〕〈滋賀県長浜市〉



「春の小川」
茶山 昌子〔滋賀県〕〈滋賀県長浜市〉



「水面をわたる」
丹波 玲子〔滋賀県〕〈滋賀県近江八幡市〉



「た・そ・が・れ」
河居 宏次〔滋賀県〕
〈滋賀県彦根市〉



「アイガの花筏」
平田 芳美〔滋賀県〕
〈滋賀県甲賀市〉



「追憶の学舎」
若林 武司〔滋賀県〕〈滋賀県犬上郡〉



「晩秋の参道」
岸岡 一彦〔滋賀県〕〈滋賀県大津市〉



評 象徴的な建物を月明かりに雲を活かし、日々目にする風景をメルヘンの世界に誘い美しくまとめました。

公益社団法人滋賀県建設産業団体連合会長賞
「月のあかり」前河 栄次〔滋賀県〕〈滋賀県長浜市〉



滋賀県建設業協同組合理事長賞
「明治の遺産」岡本 聖〔京都府〕〈滋賀県大津市〉
評 外の景と水中の様子を同時に写すのは露出的にも難しいが、魚を取る少年を生かし、石積みのお堀を象徴的に捉えています。

U22 特別賞



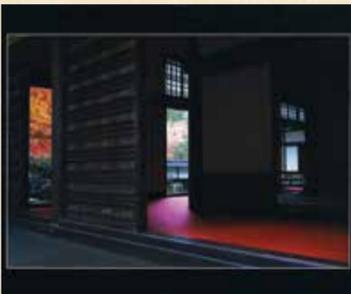
夢けんせつフォトコン実行委員会 委員長賞
「人が造り、自然が染める」橋本 大志〔滋賀県〕〈滋賀県甲賀市〉
評 季節の贈り物、トンネル内がさくら色に染まりとても美しい。先にあるしだれ桜の見事な演出を逃さず写し止めました。

特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「トトロの世界」大音 昌江〔滋賀県〕〈滋賀県長浜市〉
評 狭い道沿いに残された鉱山跡の建造物、コンクリートの変色や木々に覆われた様に時の流れを感じます。

奨励賞



「秋の秋彩」
高橋 勲〔滋賀県〕
〈滋賀県愛知郡〉



「思い出の刻」
西野 恵利子〔京都府〕
〈滋賀県犬上郡〉



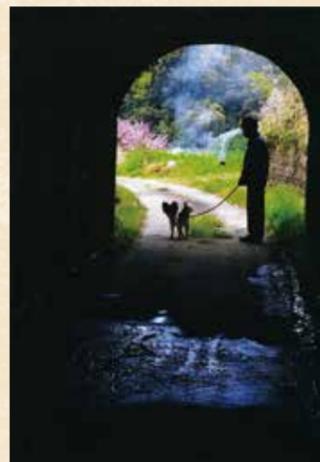
「あお紅葉の百濟寺」
新海 正男〔滋賀県〕
〈滋賀県東近江市〉



「乙女ヶ池」
西村 忠員〔滋賀県〕
〈滋賀県高島市〉



「工場の屋根から見える伊吹山」
近藤 美紀〔滋賀県〕〈滋賀県長浜市〉



「里山」
福本 勝〔滋賀県〕
〈滋賀県蒲生郡〉



「歴史を感じて」
上田 智子〔京都府〕
〈滋賀県東近江市〉



「水の流れは人の流れに」
安井 潤〔滋賀県〕
〈滋賀県草津市〉

入選

新しい技術を活用して 質の高いものづくりを目指す

近江建設株式会社

長浜市西浅井町

代表取締役 藤岡 誠



社屋

**ドローンや3Dソフトを
いち早く採用
アイコンストラクションに
向けた動きも**

地元の建設会社に勤務した後、約10年前に近江建設に入社、今年5月に代表取締役役に就任した藤岡誠社長。「昭和29年に祖父が創業して、母が2代目の代表を務めて家族でがんばってきた。少しずつ売上を伸ばしてこられたのは、総合評価の評価点をあげる取り組みを進めてきたことが大きい」と分析します。平成14年には「S0090001・S0001」の認証を、平成24年には「エコアクション21」を認証取得したほか、育児介護休暇や育児休業給付など法令に基づく諸制度の周知を図り、従業員が制度を活用しやすい事業所を目指す企業として、滋賀県の「女性活躍認証企業」の二つ星認定も受けています。

藤岡社長はいち早くドローンを活用したり、滋賀県内で初めて土木施工向けの3D CADソフトを採用するなど、積極的に新しい



滋賀県優良工事表彰知事賞を受賞した「入江干拓2期地区承水路第1工事」

するために除雪作業を行っています。

今年8月には台風5号が長浜市に大きな被害をもたらしました。同社では被害発生後すぐに、道路補修維持管理の委託を受けている国道365号の応急復旧工事に当たり、7カ所で道路をふさいでいた土砂を取り除くなど、約1カ月かかって復旧工事を終えました。また社会貢献活動の一環として、美知メセナ活動で国道303号の清掃や除草などを行うほか、滋賀県建設業協会伊香支部の活動にも熱心に取り組み、地元の小中学校のグラウンド整備のボランティア活動にも毎年参加しています。今年も木之本小学校と西浅井中学校で、凹凸ができて荒れたグラウンドをきれいに整備する作業を行いました。

地域に根ざした建設会社として、蓄積したノウハウに新しい技術を取り入れながら、質の高いものづくりを通して信頼に応えたいという目標を掲げて、これからも着実な成長を目指しています。

台風5号による被害で土砂が流出した国道365号の応急復旧工事



自社所有の除雪車や重機を動員して行う除雪活動

地域に信頼される企業として 社会貢献活動に取り組む

CSRへの関心が高まる中、環境保全・安全・コンプライアンス（企業倫理・社会的規範・法令順守）を徹底することで、企業としての社会的責任を果たしていくことが求められています。

同社では、巡回時には電気モーターが作動して、NOx（窒素酸化物）やCO₂排出量を低減するハイブリッド重機を導入するなど、環境保全にも配慮してきました。

降雪期には自社所有の除雪車や重機を動員して、地域の円滑な道路交通を確保



NOxやCO₂排出量を低減するハイブリッド重機



道路の清掃や除草などを行う美知メセナ活動

伊香支部の奉仕活動では、毎年地元の小中学校のグラウンド整備を行っている。



下余呉地区補助急傾斜地崩壊対策工事



藤岡 誠代表取締役

高島市

スノーシュー トレッキングを楽しむ

初心者でもすぐに楽しめるスノーシュー

靴だけで積もった雪の上を歩くと、足が沈みこんでたいへん歩きづらいものです。雪の上を歩くための道具と言えば、日本では昔から「かんじき」という木の枝を曲げて輪状にした道具が使われてきました。

一方スノーシューは、西洋版「かんじき」のようなもので、軽金属やプラスチック製のフレームと内側に貼られたデッキと呼ばれる部分に生じる浮力で雪の上でも沈みにくく、底に付いたギザギザした爪が雪面をしっかりグリップするので、滑らず安全に歩くことができます。

スキーのようにストックを使って歩くとバランスが取りやすく、スノーブーツや登山靴に取り付けると、ふかふかした新雪の上も、急な斜面もラクに歩行できます。大人から子どもまで、初心者でもすぐに使いこなせるのが大きな魅力です。

平地用と山用があり、山用はしっかりと滑り止めのほか、斜面を登る時に踵を持ち上げるヒールリフターが付いています。簡単に脱げないようにするため、平地用に比べると着脱がしにくくなっています。

目的に合ったスノーシューを選ぶことが大切になりますが、スノーシュートレッキングを行っているほとんどの施設で、スノーシューをレンタルできるので、まずは体験してみることをお勧めします。

今回のスノーシュートレッキングは、マキノ自然観察倶楽部の谷口良一さんの案内で、マキノ町在原の林道から高島トレイルの乗鞍岳(865.2m)頂上を目指しました。



急な斜面をグリップをきかせながら登っていきます。



この日は快晴で、湖北の山々や琵琶湖を見渡すことができました！



慣れてくると斜面を滑るように一気に下りることもできます。



雪の上なのでけっこう高いところからジャンプしても平気です。



途中、クロモジの木の香りをかいだり、動物の足跡を探したりと、自然観察も楽しみました。

登りはヒールリフターを上げて。



足に着けるとこんな感じ。かなりの存在感…反対側のスノーシューを踏まないよう、肩幅くらいに足を開いて歩くのがコツ。

雪上を滑るように歩いたり、雪の斜面を登ったり降りたりできるスノーシュー。初めての人でも手軽に楽しめるウインタースポーツとして、近年人気が高まっています。最近ではスノーシューを履いて雪原や雪山を歩き、自然観察などを楽しむスノーシューハイキングやトレッキングが、滋賀県内でも盛んに行われています。この冬はスノーシュー体験に挑戦してみませんか？



スノーシューを安全に楽しむために

- 雪山は道がわかりにくいので注意が必要です。天候の急変などに対応するためにも、ガイドや経験者と行くことをお勧めします。
- スタートする前に足首のストレッチなど準備運動を行いましょう。
- 雪が凍結している場所では危険なので迂回しましょう。
- ウエアは撥水性のあるもの、下着は吸汗速乾素材のものを。歩いている時は汗をかきすぎますが、止まると寒くなるので、フリースや薄手のダウンを用意するようにします。

マキノ自然観察倶楽部



「赤坂山自然ガイドブック」の編集に参加されたメンバーを中心に、結成された倶楽部。多くの人にマキノの豊かな自然に親しんでもらうため、年間を通して山や川、湖での自然観察会や体験イベントを開催、冬季にはスノーシュートレッキングも実施しています。また、エコツアーリズム・インタープリター養成講座も開講しています。
<http://nature-makino.sakura.ne.jp/>

高島トレイル

日本海側と太平洋側を区切る中央分水嶺の中央部、マキノの愛発越から朽木の三国岳までの約80kmで、かつて使われていた古道や山道を結んでできたもの。乗鞍岳、三国山・赤坂山、大谷山、大御影山、三重嶽、武奈ヶ嶽、二の谷山、行者山、駒ヶ岳、百里ヶ岳、三国峠、三国岳といった山々が続きます。途中、あちこちで琵琶湖と若狭湾を望むことができます。

スノーシュー トレッキング体験が できるのは？

マキノ高原

赤坂山の麓にあるマキノ高原ではスキーやそり遊びのほか、スノーシューで巡る森林セラピー&スノーシュートレッキングや、赤坂山に登るスノーシュー登山が楽しめます。

レンタルスノーシューと施設内にあるマキノ高原温泉「さらさ」がパックになったお得なプランもあります。



- 体験コース「調子ヶ滝コース」
- 登山体験コース「赤坂山登山コース」「寒風登山コース」
- スノーシューレンタル 大人 2,000円 小人 1,500円

●高島市マキノ町牧野931
●TEL 0740-27-0936 (9:00~17:00)
●<http://www.makinokougen.co.jp/>

「滋賀県メンテナンス技術者養成講座」がスタート

現在、日本では多くの橋やトンネル、道路などの社会インフラが建設から50年を迎え、老朽化による損傷や劣化等から安全な通行の確保が難しくなるという問題が発生しており、早急な対策の必要性が叫ばれています。

そのような中、本会では、「地元のインフラは地元で守る」という理念の下、滋賀県や滋賀国道事務所、舞鶴工業高等専門学校等と連携し（産官学の連携で）、滋賀県の橋のメンテナンスを担える人材を育成することを目的とした「滋賀県メンテナンス技術者養成講座」を開設しました。講座は3日間で、今年度は3回開催します。

今後、一人でも多くこの養成講座を受講して、滋賀県の橋を守り地元安心と安全を提供できる技術者に育てられることを期待しています。



CESAプログラムの環境郊外学習を開催

今年も建設青年会議環境委員会が、甲賀市立伴谷東小学校5年生58名を対象に環境郊外学習を行いました。

まずは、小学校近くの思川のゴム堰堤を見学。風船を膨らませたり、萎ませたりして水位・流量を制御し、台風や大雨による洪水などを防いだり、田畑への水の有効活用の仕組みをわかりやすく説明しました。その後、学校へ戻り思川に生息する身近な植物の生態や歴史、水は「どこからきて、どこに行くのか」といった水循環の勉強、水の飲み比べや水質の比較実験などを体験してもらい、最後に校外学習の記念として、オリジナルエコバッグづくりを楽しんでいただきました。

近年、日本各地で局地的な大雨や台風が発生し、土砂崩れ、地滑り、河川の氾濫など、多くの被害が発生しています。私たち青年部メンバーも一緒に参加・勉強することで、自然環境を壊さず人と自然にやさしい工事施工により、今後発生する台風等による災害を未然に防ぐとともに、地域の安全を守る建設業として活躍していきたいと思えます。



第23回夢けんせつフォトコンテスト審査会を開催

8月2日(水)、今年で23回目となる夢けんせつフォトコンテストの審査会が、夢けんプラザで行われました。

今年は昨年より73点多い358点の応募があり、建設業で働く人や建設物のある滋賀の風景などを被写体にした魅力ある作品が数多く集まりました。



第54回滋賀県建設野球大会開幕

恒例となった建設野球大会の開会式が、8月26日(土)に皇子山球場で開催されました。全26チームが出場して行われた開会式と始球式に続いて、この日は18試合が行われ、熱戦が繰り広げられました。

9月30日(土)に行われた決勝では、近江八幡建設工業会6-2西村建設となり、近江八幡建設工業会が6年ぶり2回目の優勝を飾りました。



滋賀県建設業協会や滋賀県建設青年会議などの動きについてご紹介するコーナーです。協会広報委員会のフェイスブックもあわせてご覧ください。

夢けんひろば

滋賀けんせつみらいフェスタ2017

10月21日(土)、22日(日)、大津港業務用地で『滋賀けんせつみらいフェスタ2017』が開催されます。

フォトコンテストや作文コンクールの表彰式、ご当地アイドルユニットのミニコンサートのほか、建設機械の試乗体験、親子丸太切り競争やミニテラポット製作体験(どちらも要事前予約)、滋賀ユニテッドBCのプロ野球選手によるコーチング、環境体験教室など盛りだくさんのイベントが開催されます。

10月21日(土)はプレイベントとしてフォトコン・絵画の作品の展示や、防災かまどベンチの設置、ドローン飛行などが行われます。

模擬店やプレゼントも多数をご用意しています。楽しい体験や展示を通して、建設業の今と未来がわかる『けんせつみらいフェスタ』に、ご家族でぜひお出掛けください。

主催/滋賀県建設産業魅力アップ実行委員会 問い合わせ/077-522-3232



10月22日(日) 大津港で開催!!

ステージイベント

- 「フルーレット」ミニコンサート
- チェーンソー彫刻実演
- 中・高生ブラスバンド演奏
- ジャグリングショー
- 保育園児おゆうぎ
- 小学生太鼓演奏
- 滋賀ユニテッドBC トークショー など



実演コーナー

- 親子丸太切り競争(要事前予約)
- ミニテラポット製作体験(要事前予約)
- 環境体験教室
- 建設工事現場見学会
- ベニヤドームづくり
- オリジナルパズル作り
- ミニショベル お菓子すくい など



機械試乗体験コーナー

- 高所作業車、バックホウ、移動式クレーンの展示と試乗体験
- 展示車両運転席での写真撮影



模擬店・プレゼント

- 各種飲食・販売ブース
- 花の種、ヘリウム風船プレゼント
- 各種カタログの配布
- コンクリートクイズ



※そのほか、住宅建築やリフォーム、耐震などの相談会(要事前予約)、フォトコンテストや絵画コンテスト作品や、各種パネルの展示コーナーもあります。



前号の答え
2006

パズル&クイズ当選者

- 小谷 信子さん
- 角田 緑さん
- 吉松 博美さん
- 和田 初美さん
- 藤川 祐輔さん
- 三好 紀夫さん
- 重永 暢一さん
- 野村ミツ子さん
- 河野サエ子さん
- 金岡 明光さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を当選します。ふるって応募ください。
- 別のハガキにて応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り
平成30年1月20日必着
- あて先
〒520-0801
大津市におの浜一丁目1-18
(一社)滋賀県建設業協会 広報委員会

季刊夢けんせつ秋号

◆
2017年(平成29年)10月10日
通巻第686号
発行 一般社団法人滋賀県建設業協会
〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18
TEL.077-522-3232(代)
FAX.077-522-7743
http://www.yumeken.or.jp
企画編集 広報委員会
協力・印刷 宮川印刷株式会社



取材ほれ話

建設現場というと、騒々しくて雑然としたところといったイメージがありますが、取材で訪れた「大津能登川長浜線道路整備工事 能登川工区」の現場は整然とした印象で、数名のスタッフがそれぞれの持ち場で働いていました。

現場事務所もたいへんきれいで快適、所内には熱中症対策の製氷機が置かれていたほか、安全管理はもちろん働く人の体調管理にもいろいろと配慮されているのに感じました。初めて間近で見るドローンやICT重機などに興味津々。ちなみに写真は当口ドローンから撮影されたものです。

生産性を向上させて建設業の経営環境を改善し、事故のない安全な職場が実現できるように、また、建設業で働く人々の賃金水準を上げ魅力ある業種にするために、もっと情報通信技術を活用していこうとスタートしたICT施工。

かつては「きつい、汚い、危険」な仕事と言われた建設業ですが、「給与を多く、休日もしっかりとれて、希望のある」新3Kの職業となることも夢ではない、と感じることができました。

夢けんNEWS

建設業イメージアップポスター

協会では建設業の魅力を発信する、新しいイメージアップポスターを制作しました。「私たちはこの街の暮らしを守っています」というキャッチフレーズとともに、地域の安全な暮らしを守るため日々がんばっている会員のみなさんの姿を紹介しています。



入賞作品展示用フォトフレーム展示台ができました。

「夢けんせつフォトコンテスト」「夢けんプラザ絵画コンクール」の入賞作品を、27インチの液晶ディスプレイに表示して紹介する、デジタルフォトフレーム展示台を作成しました。

フォトフレーム展示台の設置を絵画コンクールに応募された学校などに呼びかけて、設置していただける施設を募集し、より多くの方々に作品を鑑賞していただく予定です。



●お問い合わせ先
(一社)滋賀県建設業協会
担当:山本
TEL:077-522-3232

今年も力作が勢揃いしたフォトコンテスト。たくさんのご応募ありがとうございました。私も審査員として今年で2年目となり、選考される意味合いも少しずつ分かってきました。私の投票した作品が上位に入賞するととてもうれしく思います。

さて、今年の夏はいつか必ず来ると思われていた災害が遂に湖北の地にも来しました。災害復旧に当たられた県、市町村の皆様、建設作業員の方々ご苦労様でした。また被害にあわれた方々へ心よりお見舞いを申し上げます。

天災は忘れた頃にやってくると寺田寅彦が言ったように、「まあ大丈夫だろう。いつ来るかわからない災害より今の生活が大事」と思っていたときに災害は起こるなあとつくづく思いました。人間は失敗して成長していきます。この教訓を糧にして防災の考え方を直したいものです。

今年もまた各地で防災訓練が行われていますが、建設業に携わっている一員として真剣に訓練に参加していきたいです。広報委員会も防災の意識向上に貢献できれば幸いです。それではみなさん「ご安全に」。

After Word

滋賀県菓子工業組合では平成28年に設立50周年を迎えたことを記念して、「滋賀県」と言えばこれ！と言われるような、新しい商品の開発に取り組みました。

青年部が中心となつて開発プロジェクトを立ち上げ、会員からアイデアを募った結果、滋賀県特産の最高級のもち米「滋賀羽二重糯」を使って、世代を超えて人気の高いプリンを作ることにしました。

卵を使わずもち米の粘りと寒天で生地を固めることで、もちもちとした新しい食感が特徴的なプリンを作ろうと、試作を繰り返した結果、滋賀羽二重糯のねばりとキメ細かくなめらかな食感と、濃厚な生クリームが絶妙にマッチした優しい甘さのプリンが誕生しました。さらに、深い味わいを引き立てる黒蜜と抹茶の2種類のソースが考案されました。

当初は要冷蔵の商品として開発しましたが、発売後、常温で約1カ月保存できるよう改良に取り組みました。冷凍庫で凍らせてから、カップを熱湯で温めるときれいに取り出すことができるようになり、常温から冷凍まで温度を変えらるると違った食感を楽しむことができます。

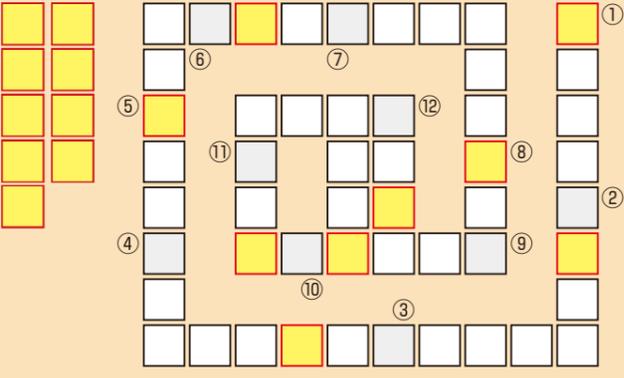
今後は、滋賀県を代表するスイーツとして、taeブランドを事業展開していく予定で、滋賀の食材を使った新たな商品の開発も検討していきます。



「湖の餅〜tae〜」(黒蜜)
1個378円(税込)



「滋賀の名品」のサイト
http://shiganomeihin.jp/
滋賀県菓子工業組合
TEL.077-525-5972



- 祭の屋台で見かけるりんごに飴をからめたお菓子は?
- カエテの樹液を濃縮した甘味料
- プリンと果物などを盛り合わせたデザート
- 小麦粉などで作った生地を油で揚げたお菓子
- 小魚や海藻などを砂糖と醤油で煮付けた惣菜
- 中華料理の定番、にらの卵とじ
- きこの英語で言うところ
- 卵とクリームで作るふわわりしてクリーミーなデザート
- 日本近海に広く生息するイカと言えば?
- お節料理にかかせないニシンの卵
- 長年、高い人気を誇るブランド米
- 葉っぱの形をした焼き菓子



パズル クイズ
食欲の秋しりとりにクイズ
美味いものをつなげて、しりとりを完成させてください。
■を組み合わせることで、ヒント 特集「話題の焦点」

